

# 「次期食品製造業振興ビジョン」の検討状況について

日本酒・ワイン振興室

<目指す姿>

長寿県NAGANOの「からだに優しい食品」の創出

【2017年度～2022年度】

1. 健康志向や世界基準の安全・安心など消費者（市場）ニーズに沿った的確な**開発力**

- 機能性エビデンスの研究
- 信州フードスペシャリストの育成
- 新商品開発プロジェクトの実施 等

2. 健康長寿やそれを支えてきた食文化・歴史・風土等の本質的な価値を活用した**ブランド力**

- 全国発酵食品サミット in NAGANOの開催
- 「発酵・長寿県」宣言
- 「発酵・長寿」ポータルサイトによる発信 等

3. 世界市場への展開を加速する高い**マーケティング力**

- 民間企業と連携したテストマーケティングの実施

4. 農業・観光等の関連産業との連携による新たな価値の**創出力**

- 原材料から製造、販売、消費、食育等に係るマッチング

全ての食品事業者が参加するビジョン

<目指す姿>

（仮）グローバルな「NAGANOの食」価値向上

【2023年度～2027年度】

1. フードテックを活用した健康志向、社会持続性、安全・安心など消費者、社会ニーズに沿った**開発力の強化**

[L X(健康)・D X(デジタル)・G X(環境)の取組、アップサイクル、プラントベースフード、健康機能性食品 等]

2. 地域資源と優れた技術による本質的価値を活用した**ブランド力の向上**

[ガストロミーツーリズム、長寿県NAGANOブランドの構築、情報発信 等]

3. グローカルな視点による世界市場及び国内需要への展開を加速する**マーケティング力の強化**

[マーケットイン、インバウンド需要開拓 等]

4. 関連産業・機関との連携による新たな価値の**創出力の向上**

[地場原料活用、観光業との連携、異業種とのコラボ、食品産業連携支援拠点 等]

# 「次期信州ワインバレー構想」の検討状況について

## <初期の構想>

ぶどう栽培、ワイナリーなどの増加を期待した段階

【2013年策定→ 2022年目標】

### 1. ワイン産地の形成

- 新規参入
- ぶどう栽培
- ワイン醸造
- 地域内連携の推進
- 窓口の明確化

### 2. プロモーション

- 認知度向上
- 消費拡大
- 観光交流

### 3. 価値の向上

- 原産地呼称管理制度
- 原材料表記
- ワイン文化
- 環境との共生

## <グレードアップ版>

観光との連携、地域バレー強化、ブランド化を強調

【2020年策定→ 2022年目標】

### 1. ワイン産地の形成

- 新規参入
- ぶどう栽培
- ワイン醸造
- 地域内連携の推進
- 窓口の明確化

### 2. プロモーション

- 認知度向上
- 消費拡大

### 3. 観光地域づくり

- 基盤形成
- 地域観光資源の活用
- 地域産業との連携

### 4. 価値の向上

- 原産地呼称管理制度と酒類の地理的表示
- 原材料表記
- ワイン文化
- 環境との共生

## <次期構想の方向性>

高品質なワイン、賑やかな地域づくり、ブランド力など持続性を強化

【2023年策定→2032年目標】

- **ワイン産地の形成**  
(新規参入、栽培、醸造、経営、事業承継、ブランド等)

- **ワイン文化の醸成**  
(認知度向上、プロモーション、消費拡大 等)

- **観光地域づくり**  
(ワインゴーランド、ツーリズム、地域交通 等)

- **地域バレーの活動整備**  
(インタープリター、地域間連携 等)

※ マイルストーン各機関で取組むアクションプランとする。5年度目に見直し